

令和 8 年第 11 回真庭市教育委員会会議録

会 議 種 類	定例会	
開 催 年 月 日	令和 8 年 8 月 20 日（木）	
開会及び閉会 時 刻	開会時刻	9：30
	閉会時刻	9：51
場 所	真庭市役所教育委員室	
会議録署名者	教 育 長 三ツ 宗宏	
	署名委員 大盛 陽子	
会議録作成者	教育総務課 係長 矢萩 志保	

1 出席委員

職 名	氏 名	備 考
教 育 長	三 ツ 宗 宏	
教育長職務代理者	常 本 直 史	
委 員	高 谷 絵里香	
委 員	和 田 ひろみ	
委 員	大 盛 陽 子	

2 出席した者

職 名	氏 名	備 考
教 育 次 長	浅 野 晃 彦	
教 育 総 務 課 長	中 川 晃 吉	
学 校 給 食 推 進 室 長	三 浦 宮 子	
学 校 教 育 課 長	田 中 裕 恵	
生 涯 学 習 課 長	福 井 学	
図 書 館 振 興 室 長	上 杉 朋 子	
教 育 総 務 課 係 長	矢 萩 志 保	

3 傍聴人

0 名

4 議事日程

日程	案 件	結 果
	開 会	
第 1	教育長あいさつ	三ツ教育長
第 2	署名委員の指名について	大盛委員
第 3	教育長諸報告	浅野教育次長
第 4	付議事件	
	議案第 25 号 令和 9 年度使用教科書図書の採択について	原案可決
第 5	その他	
第 6	閉 会	

5 議事の大要

(9 時 30 分 開会)

○三ツ教育長

これから第 11 回教育委員会を開催いたします。以下、議事日程に従って進めてまいります。日程第一、教育長挨拶です。

津山市の方では県立高校や中学校の学校も始まり、子どもの姿が見え出したようです。真庭市もまもなく 2 学期がスタートしますが、良い準備をしてスタートが切れるとよいと思うのと、子どもたちが再会を楽しみにその日を待ってくれたら嬉しいなと思います。わたしが子どもの時には「うわー、学校が始まった。」と思っていましたけれど、親はやれやれと思っていたのではないかと思います。いずれにしても、新しいつながりがそこで生まれていけばいいなと思います。

今日、お話ししようと思うことは、この夏ありがたいことに、若い人たちと話をする機会がたくさんありました。この前、教育委員会でも子ども参観日があって、高校生と大学生、あと専門学校生が 9 人集まってくれて、いろいろ話す機会をもらいました。そこで子どもらが話していたことが面白いので紹介します。

「普通ってなんだろう？」という話をしました。何人かの話ですけれども、「みんな同じ、みんながそう思うということを普通だと考えると、そうでない 1 人 1 人はしんどいかな。1 つ間違うと同調を求めることになるのではないかな。」ということを書いていました。また、「ただし、社会を営むので一定の規範とか基準はあるだろうな。だからそれは普通として大事にしないと。例えば平和とか、人を傷つけないとか。」ということも書いていました。1 番に感じたのは、「結婚するのが普通とか、子どもを産み育てるのが普通とかいう考え方への違和感はある。いろんな考え方、いろんな生き方があるということを認め合うことが普通であつたらよいね」というような話です。なるほどなと思って聞きました。

また、「持続可能ということがよく言われるけれど、どうだろうか。」と話したときは、「人が減っていく中で、経済とか地域とか産業とか言われるけども、その担い手を若者に押し付けるのは違うと思う。」「しかも人間の生活だけで考えたのがダメなんじゃないかな。人は自然の中で生きているから、自然が続いてって、次の世代に送り届けることが大事なんじゃないかな。」というような話もしていました。

もう一つ面白いなと思ったのが、「コミュニケーションは難しいか」という話になったのですが、若者たちは難しくないとほとんど言うのです。言い方は様々だったのだけれど、「自分をよく見せようとか、うまく話そうとか構えると難しく感じるのではないか。」「妙に相手に気を使うとか、黙っている時間を気にすると、難しく感じるようになる。けれど、本来コミュニケーションは、一方が伝えたいことを話すということと、一方がそれに乗かって話すということ。聞くということと話すということの繰り返し。人と人との関係で考えると、シンプルではないだろうか。」「自分が心がけていることは相手をカテゴリーで見ない。その人の属性だとか、立場だとか、地域とか。みんながいろんなカテゴリーに属して生きているのだから、相手を固定的に見るのではなく、人と人が話すということを考えるようにしている。」というような話を子どもたちが、それぞれの立場で話してくれました。私にとっては本当によい時間でした。昨日、エキマエノマエで行われた若者のフューチャーデザインワークショップでの話でもそうでしたが、若者が今何を考えて、何を言葉に紡いでいるのかということを感じた時に、世の中は、大人都合が蔓延しているということをすごく感じます。何が正解かは分かりませんが、そうした声を聞きながら、まさしく今第四次教育振興基本計画の策定をしています。その中に反映させていけたらよいと思いながら過ごした時間でしたので、ご紹介をさせていただきました。本当に感心することが多かったです。今日もどうぞよろしくお願いします。

それでは、日程第二です。署名委員の指名についてですが、今日は大盛委員さんをお願いします。

○大盛委員

はい。

○三ツ教育長

よろしくお願いします。続いて、日程第三 教育長諸報告を教育次長よりさせていただきます。

○浅野教育次長

(資料により説明)

●市議会関係：

文教厚生常任委員会 8月17日

●教育委員会関係（小・中学校関係）：

2 学期始業式 8/24 久世中学校

8/25 落合・蒜山中学校

8/26 北房中学校

8/27 月田・八束小学校、勝山中学校

9/1 その他小学校、湯原中学校

●その他報告事項

職員の交通事故について 3 件

●教育委員会開催予定：

第 12 回 9 月 24 日（木） 9：30

第 13 回 10 月 15 日（木） 9：30

●その他行事予定：

1. 定例教育長会議 8 月 31 日 Web 会議

2. 総合教育会議 10 月 15 日 13:00～ 本庁舎 3 階応接室

3. 学校訪問（北部） 9 月 17 日、10 月 8 日、11 月 2 日、11 月 24 日

○三ツ教育長

以上、報告させていただきましたが、委員の皆さんからご質問ご意見ありま

すでしょうか。よろしいですか。続いて、日程第四の付議事件です。議案第 25 号 令和 9 年度使用教科書図書の採択についてお願いします。

○田中学校教育課長

（資料により説明）

提案理由：令和 9 年度に使用する小・中学校教科用図書は、無償措置法第 14 条の規定に基づき、令和 8 年度と同一の教科書を採択する。特別支援学級(知的)で使用するすることができる教科書以外の教科用図書（特別支援学校・学級用一般図書）については、学校ごとに選定されたので採択案として提出する。

○三ツ教育長

説明がありました。皆さんからご質問、ご意見ありますでしょうか。

○大盛委員

特別支援学級の特別な教科書は毎年採択されるのですか。

○田中学校教育課長

それぞれに合わせたものを使うということで、このような形で毎年採択をお願いしています。

○三ツ教育長

よろしいですか。児童生徒の出入りもあり変わりますからね。その関係もあって毎年採択しております。小中学校についても現行通りの確認をさせていただいるということでご理解いただけたらと思います。その他いかがでしょうか。よろしいですか。

それではお諮りをいたします。議案 25 号 令和 9 年度使用教科用図書の採択についてご異議ございませんか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

それでは異議なしということで、原案の可決をお願いします。

では続いて日程第五 その他ですが、委員の皆さんから何かありますか。

よろしいですか。それでは、事務局から何かありますか。

よろしいでしょうか。それでは、以上で教育委員会会議を終了いたします。

(9 時 51 分 閉会)